

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日：2011年11月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	教養デザイン研究科／教養デザイン専攻
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	モントリオール大学 Université de Montréal
留学期間	2010年9月～2011年4月
留学した時の学年	M2年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	M2年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	仏語圏文学研究科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年6月13日
明治大学卒業予定年	2012年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期：9 月上旬～12 月下旬 2 学期：1 月上旬～4 月下旬 3 学期：7 月上旬～8 月下旬 (記入例/1 学期：4 月上旬～7 月下旬, 2 学期：9 月中旬～2 月上旬)
学生数	7 万 7 千人
創立年	1878 年

留学費用項目	現地通貨 (カナダドル)	円	備考
授業料	0 ドル	円	協定校
宿舍費	3,200 ドル	円	ルームシェア
食費	2,000 ドル	円	
図書費	600 ドル	円	研究用文献
学用品費	100 ドル	円	
教養娯楽費	500 ドル	円	
被服費	50 ドル	円	
医療費	10 ドル	円	
保険費	700 ドル	円	形態：学生保険
渡航旅費		140,000円	1 年 open
雑費	200 ドル	円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	7,360	140,000円	

### 渡航関連

**渡航経路：**関西国際空港～台北～トロント～モントリオール

渡航費用

チケットの種類      1年オープン

往路

復路

合計                      140,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

### 滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

アパートでルームシェア

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋（同居人数3人）

3) 住居を探した方法：

口コミ

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

モントリオールは、ルームシェアがとても人気。物価が安く、日本よりも広々とした空間での生活が可能。

### 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：発熱のため大学内の診療所を利用した

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用のインターナショナル・ハウスがある。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地の人から情報収集。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

図書館・大学構内、街にあるほとんどのカフェでWIFI接続が可能。ルームシェアでもWIFI接続が一般的。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

日本の銀行でインターナショナル・カードを作り、現地で必要な時に引き出していた。また、クレジットカードも併用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本製の基礎化粧品類。

## 進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。指導教員とよく話し合うのが一番。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
6単位	単位
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Auteurs Québécois	ケベック作家
科目設置学部・研究科	人文学部 仏語圏文学研究科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Micheline Cambron
授業内容	ケベック作家アンヌ・エペールの作品を、思想家ポール・リクールからの視点から考察する。
試験・課題など	毎週作品を1,2つ予習として読んでおくこと。2週間に1回の割合で小レポートの提出。グループ・ワーク。期末レポートとそれについての発表。
感想を自由記入	思想書をフランス語で読むのに何よりも苦勞した。グループ・ワークや発表を通しての意見交換が楽しかった。

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Sociocritique		社会学評論	
<b>科目設置学部・研究科</b>	仏語圏文学研究科 修士課程		
<b>履修期間</b>	冬学期		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	ゼミ形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に180分が1回		
<b>担当教授</b>	Pierre Popovic		
<b>授業内容</b>	文学における街（モンリオール・パリ・マルセイユ）を社会学的視点から分析する。		
<b>試験・課題など</b>	毎週学生が文学作品と評論について発表。期末レポートとそれについての発表。		
<b>感想を自由記入</b>	フランス出身の学生が半分近くいた。街同士の比較を通じた異文化交流のようでとてもおもしろかった。ゼミ形式のため、発言することが非常に重要。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Identité Culuturelle et Littérature		文化的アイデンティティと文学	
<b>科目設置学部・研究科</b>	人文学部 仏語圏文学研究科		
<b>履修期間</b>	冬学期		
<b>単位数</b>	聴講		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に180分が1回		
<b>担当教授</b>	Martine-Emmanuelle Lapointe		
<b>授業内容</b>	ユダヤ系ケベック作家の作品にみるモンリオールの表象を分析する。		
<b>試験・課題など</b>	小レポートが数回。期末レポート。		
<b>感想を自由記入</b>	授業の一環で、モンリオールのユダヤ人地区を散策した。ガイドブックには載っていない街の歴史や地区の変容を知ることができた。		

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	入学許可書が届くまでの間、情報収集。
4月～7月	航空券の予約。住居探し。 「留学願い」を提出。 就学ビザの申請。
8月～9月	渡加。 秋学期開始。秋学期分の学生保険の支払い。 履修登録（大学院生はメール送信）。
10月～12月	
2011年 1月～3月	冬学期開始。冬学期分の学生保険の支払い。 履修登録（メール送信）。
4月～7月	帰国の準備。 帰国後、「帰国届」と「復学願い」を提出。
8月～9月	後期から復学。